

新東名島田金谷IC周辺賑わい・交流拠点整備

◎都市計画課 ☎36・7177

2月25日、市と大井川農業協同組合・大井川鐵道株式会社・中日本高速道路株式会社との4者は、新東名高速道路島田金谷IC周辺の「賑わい・交流拠点」の整備実現に向けて、共同発表を行いました。

同拠点には、交流人口の拡大や新たな雇用の場の創出を目的に、大井川流域の地場産品などの販売施設や、観光客向けの飲食・休憩施設の整備・誘致が計画されています。また、無料駐車場や新駅の設置など、地域資源であるSLを生かした「大

井川流域の観光拠点」の機能を持つ施設整備も検討されています。

今後は、基本計画を策定し、平成30年春の工事着工を目指します。



完成イメージ図を発表する4者の代表

新たな地域おこし協力隊員2人に委嘱状交付

◎地域づくり課 ☎36・7197

市では、地域おこし協力隊員として、地域のために貢献してくれる担い手を公募し、2月1日に30代の若者2人に委嘱状を交付しました。

新たに隊員となった村松遼太郎さん（焼津市出身）は「地域のためになる成果を残したい」、佐藤洋行さん（駿東郡清水町出身）は「培ってきた経験を生かして、川根地区の情報発信などに努めていきたい」と、染谷市長にそれぞれの意気込みを語ってくれました。

川根地区に移住した2人は、NP



村松さん（左）と佐藤さん（右）

〇法人まちづくり川根の会など地域と協力しながら、移住・定住事業や空き家バンク事業など、地域の活性化のために活動しています。

「島田市市勢要覧」を2年ぶりに一部改訂

◎広報課 ☎36・7118

市では「島田市市勢要覧」を2年ぶりに一部改訂しました。コンセプトは、島田市民が受け継ぐ「人×声×かける」（ひとこえかける）おもてなしの心です。今回は、さまざまな「島田生まれのオンリーワン」を新たに紹介。そのほか、市の魅力や子育て環境の充実、安全安心のまちづくりを、市民の声「いいじゃん」のキーワードで伝えていきます。

さらに、スマートフォンに対応したAR（拡張現実）技術で、川根小学校の児童が歌う市歌などを、動画

や音声で楽しむことができます。

市勢要覧は、主な市内公共施設に配架しているほか、市のホームページでも公開しています。



島田の「いいじゃん」がいっぱい

「死ぬことと、生きることと同じ」在宅医療講演会

◎健康づくり課 ☎34・3282

2月7日、プラザおおるりで、平成24年10月に亡くなった流通ジャーナリスト金子哲雄さんの妻・稚子さんの講演会が開催されました。

稚子さんは、在宅で哲雄さんの闘病生活を支えた経験に基づき「死ぬこととどのように向き合っていくか」、そして「生きること」への思いを語ってくれました。

また、病気の進行段階に応じて必要な医療が変わっていく中で「自分がどのように生きたいのか」という考えをしっかりと持ち、家族などに

知らせておくことの重要性を来場者に伝えました。

今後も市では、在宅医療について考える機会を皆さんに提供していきます。



自身の経験を語る金子さん